

### 3- (4) ハタハタ資源調査

藤原 大吾

#### 目的

本県の主幹漁業である沖合底びき網漁業の重要魚種の一つとなっているハタハタの資源生態調査を行うことにより、資源の持続的利用と漁業経営の安定を図る。

#### 方法

①本種の漁獲動向および雌雄別体長別漁獲尾数を把握するため、主要水揚港である賀露、網代、境港（田後漁業協同組合所属、鳥取県漁業協同組合境港支所の全船及び鳥取県漁業協同組合網代港支所所属の一部漁船が水揚げ）において、市場測定、生物調査及び漁獲統計調査を行った。

②試験船により、青谷沖から日御碕沖において、各地点30分ずつ着底トロール網（目合4cm）を曳網し、漁期直前の8月（秋季調査）のハタハタの分布状況を把握した。

③また、鳥取沖の4地点において、ハタハタ春漁直前の2月（春季調査）に各地点30分ずつ着底トロール網（目合4cm）を曳網し、ハタハタの分布状況を把握した。

#### 結果

##### ① 漁獲動向

###### 【漁獲量】

ハタハタの年間漁獲量は大きく変動しながら推移しており、2023年は前年から1,230トン減少し、104トンと極端な不漁となった（図1）。月別の漁獲量を見ると例年、盛漁期となる3～5月にほとんど漁獲がなく、9月も平年を下回る低調な漁獲となった（図2）。

###### 【体長組成】

市場調査、生物調査結果および統計調査から月別雌雄別体長別漁獲尾数を求め、図3、4及び表1に示した。

2023年の鳥取県のハタハタの漁獲尾数は246万尾で1歳魚（雌：体長15cm前後、雄：体長13cm前後）を主体とした漁獲となった。

例年、春漁の漁獲の主体となる2歳魚（2021年級で体長15cm前後）が漁場に極端に少なかったことが2023年に極端な不漁となった要因として挙げられる。

##### ② 漁期前試験操業（秋季調査）

###### 【ハタハタ分布状況】

8月7～22日に、青谷沖から日御碕沖の水深189～252mの14定点において（図5）、第一鳥取丸により、着底トロール網を用いて底魚類の分布調査を行った。

1網（30分曳網）当たりの入網重量が100kgを超えたのは大瀬沖水深200m（104.4kg）の1定点のみで、例年は2,3地点で100kgを超えるまとまった入網があることから、入網量は例年と比較して少ない結果となった（図6）。

漁獲物は小々～小銘柄（銘柄5～6番、体長12～15cm、1歳）主体に採集された（図7）。

前述のとおり、2023年春漁期から2歳魚（2021年級）が秋以降も漁場にほとんどいない状況が継続していると考えられた。

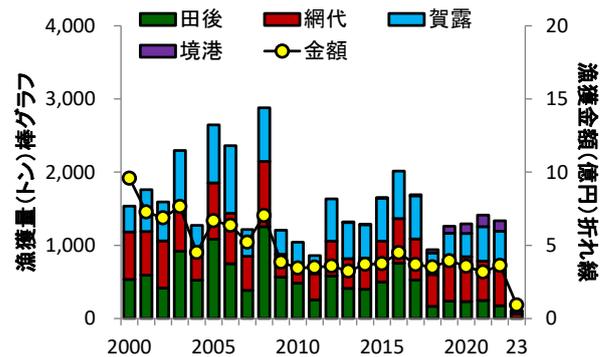


図1 鳥取県の沖合底びき網における地区別ハタハタ漁獲量・金額の推移（2000-2022年）

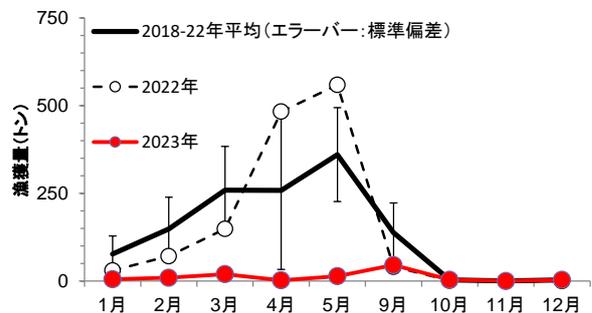


図2 鳥取県のハタハタの月別年別漁獲量

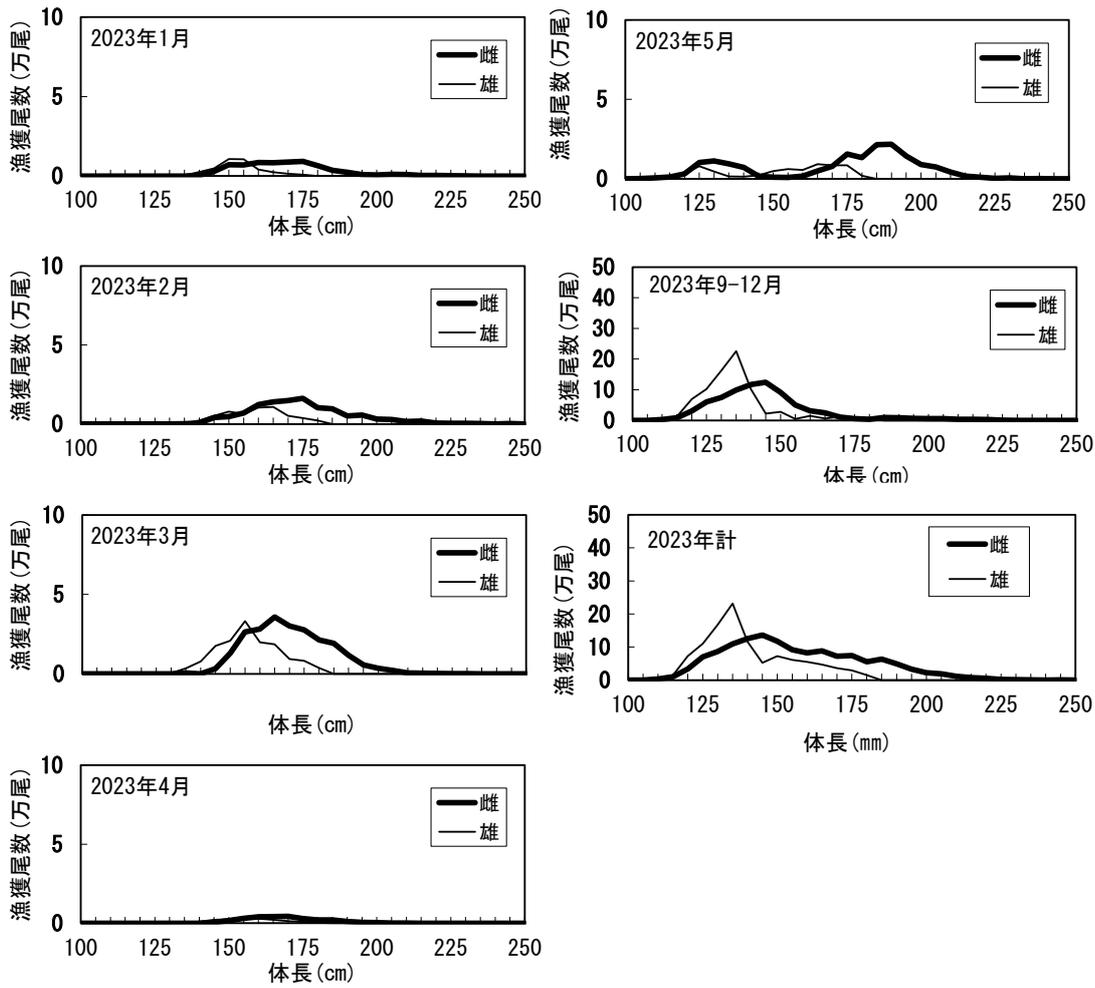


図3 鳥取県のハタハタの月別雌雄別体長別漁獲尾数

表1 鳥取県におけるハタハタの月別雌雄別体長別漁獲尾数（2023年）

体長 (mm)	1月		2月		3月		4月		5月		9-12月		合計	
	雌	雄	雌	雄	雌	雄	雌	雄	雌	雄	雌	雄	雌	雄
95 - 100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
100 - 105	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
105 - 110	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.3	0.1	0.3	0.2
110 - 115	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.9	1.3	1.0	1.5
115 - 120	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	3.1	6.9	3.4	7.2
120 - 125	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.8	6.0	10.2	7.0	11.0
125 - 130	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.5	7.5	16.3	8.7	16.8
130 - 135	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.3	0.0	0.0	1.0	0.2	9.9	22.5	10.9	23.2
135 - 140	0.0	0.3	0.1	0.2	0.0	0.8	0.0	0.1	0.7	0.1	11.7	10.3	12.5	11.7
140 - 145	0.3	0.5	0.4	0.5	0.3	1.8	0.0	0.2	0.2	0.2	12.4	2.3	13.6	5.2
145 - 150	0.7	1.1	0.5	0.8	1.3	2.1	0.2	0.3	0.1	0.5	9.2	2.8	11.8	7.3
150 - 155	0.7	1.1	0.7	0.6	2.6	3.3	0.3	0.4	0.1	0.6	5.0	0.5	9.2	6.1
155 - 160	0.9	0.4	1.2	1.0	2.8	2.0	0.4	0.3	0.2	0.6	3.2	1.5	8.2	5.5
160 - 165	0.8	0.2	1.4	1.1	3.6	1.9	0.4	0.2	0.5	0.9	2.5	0.6	8.8	4.7
165 - 170	0.9	0.1	1.5	0.5	3.0	0.9	0.4	0.1	0.8	0.8	1.1	1.2	7.3	3.6
170 - 175	0.9	0.1	1.6	0.4	2.8	0.8	0.3	0.1	1.6	0.9	0.6	0.8	7.5	3.0
175 - 180	0.7	0.0	1.0	0.2	2.1	0.4	0.2	0.0	1.3	0.2	0.4	0.7	5.5	1.5
180 - 185	0.4	0.0	1.0	0.0	1.9	0.0	0.2	0.0	2.2	0.0	1.0	0.0	6.3	0.0
185 - 190	0.2	0.0	0.5	0.0	1.2	0.0	0.1	0.0	2.2	0.0	0.9	0.0	5.0	0.0
190 - 195	0.1	0.0	0.6	0.0	0.6	0.0	0.1	0.0	1.4	0.0	0.6	0.0	3.3	0.0
195 - 200	0.1	0.0	0.3	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.6	0.0	2.2	0.0
200 - 205	0.1	0.0	0.3	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.6	0.0	1.9	0.0
205 - 210	0.1	0.0	0.2	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.4	0.0	1.1	0.0
210 - 215	0.0	0.0	0.2	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.3	0.0	0.8	0.0
215 - 220	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.3	0.0	0.5	0.0
220 - 225	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.2	0.0
225 - 230	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0
230 - 235	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
235 - 240	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
240 - 245	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
245 - 250	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	7.0	3.8	11.6	5.4	23.1	14.4	2.7	1.8	17.3	6.9	78.6	78.0	137.6	108.6

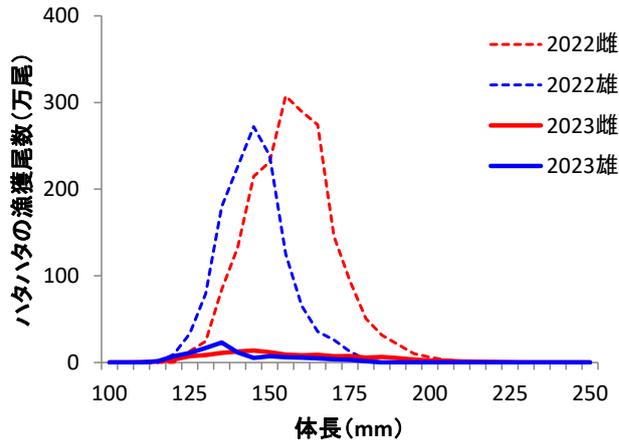


図4 鳥取県で漁獲されたハタハタの雌雄の体長別漁獲尾数

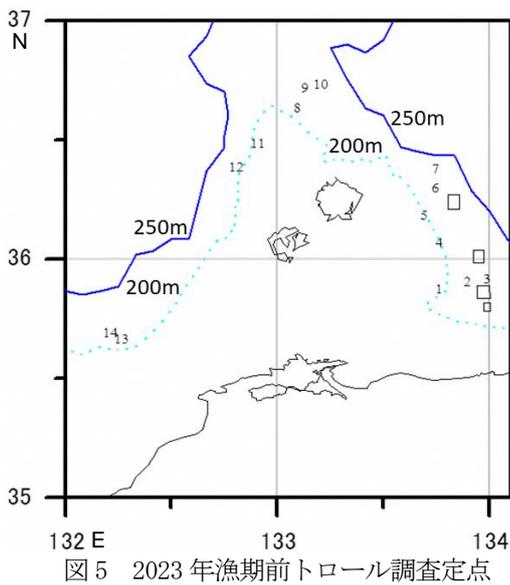


図5 2023年漁期前トロール調査地点

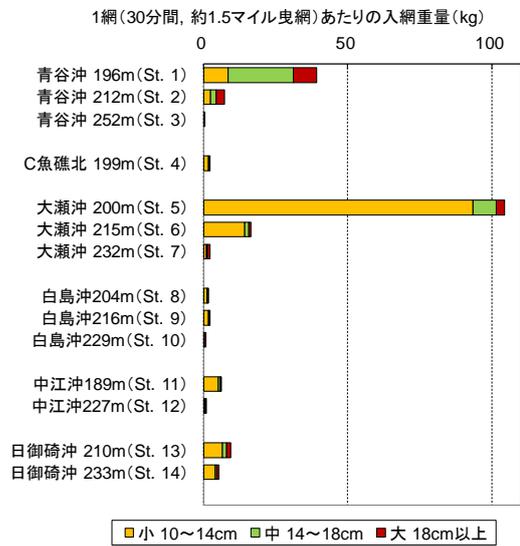


図6 2023年漁期前トロール調査によって漁獲されたハタハタの地点別漁獲量

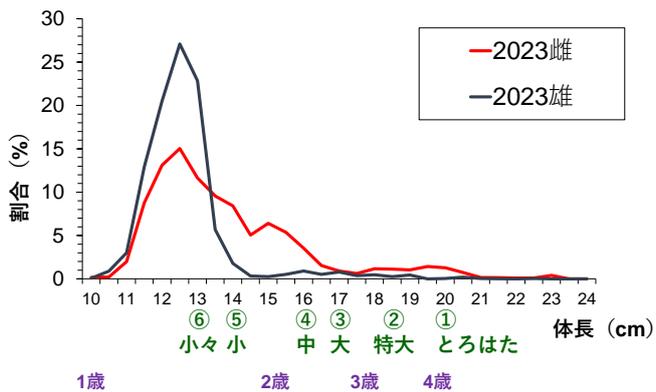


図7 漁期前試験操業で漁獲されたハタハタ雌雄の体長組成

### ③春季調査

#### 【ハタハタ分布状況】

例年、春季の主漁場となる鳥取沖の4点（図8）において、第一鳥取丸により、着底トロール網を用いてハタハタの分布調査を行った。

2023年はSt.1（水深190m）で前年並みの分布密度となり、St.2-3では前年を上回る分布密度となった。一方で春漁が好漁となっていた2019-2021年と比較すると分布密度は低い状況となった（図9）。採集されたハタハタのサイズは体長12.5～17.5cm（2022年級の2歳魚）主体に採集された。

また来漁期の漁獲対象となる当歳魚の分布密度も低い状況が2022年以降から継続しており、ハタハタの当歳魚の発生が不調となっていることや、ハタハタの来遊時期が遅れていることが懸念された。

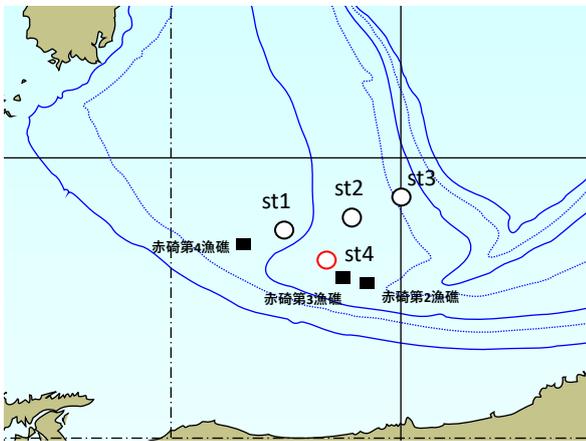


図8 春季ハタハタ漁期前調査定点

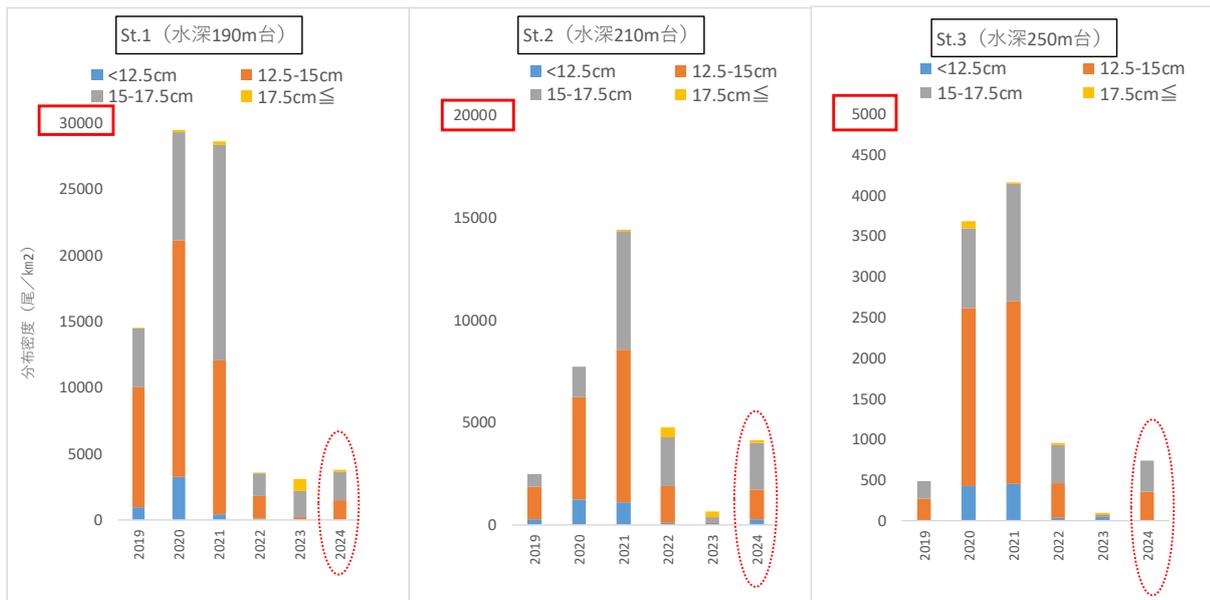


図9 春季ハタハタ漁期前調査でのハタハタのサイズ別の分布密度  
(2021—2024)